

させぼ しあわせ 食プラン

第5次佐世保市食育推進計画【案】(概要版)

第1章	計画の策定にあたって
第2章	佐世保市の食育の現状と課題
第3章	食育推進の基本的な考え方
第4章	基本的施策
第5章	計画の推進
参考資料	第4次佐世保市食育推進計画実績値及び 第5次佐世保市食育推進計画目標値





計画の趣旨

新型コロナウイルス感染症や物価高騰、ライフスタイルの多様化などにより、食をとりまく環境は大きく変化しています。

令和7年度に実施した「佐世保市食育に関するアンケート結果」からは、朝食欠食の改善や栄養バランスに配慮した望ましい食生活の実践に向けた取組が必要な状況です。

市民一人ひとりが生涯にわたり心身ともに健やかに豊かな暮らしを送るために、行政、食品関連事業者、教育及び保育関係者、保健・医療・福祉関係者、農林漁業関係者、さまざまな関係機関や団体との連携のもと、食育を推進していくことを目的に、第5次佐世保市食育推進計画（させぼしあわせ食プラン）を策定します。

計画の位置づけ

食育基本法第18条の規定に基づく市町村食育推進計画

- ▶ 本市のまちづくりの指針である「第7次佐世保市総合計画」を上位計画とし、関連する「けんこうシッブさせぼ21推進計画」や「歯・口腔の健康づくり推進計画」などの計画と連携・調和し推進します

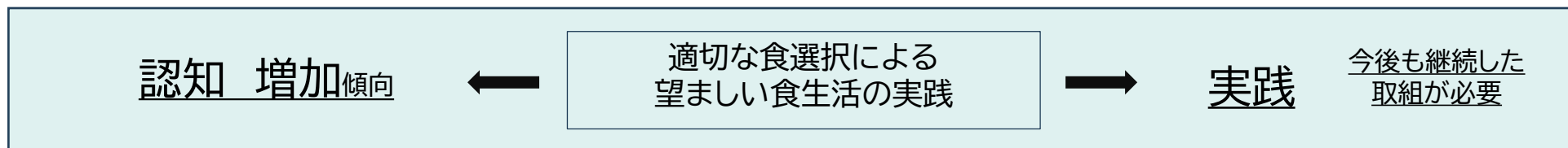
計画期間

令和9（2027）年度～令和17年度（2035）年度（9年間）

第2章 佐世保市の食育の現状と課題



これまでの成果（目標達成項目から）	課題（目標未達成項目から）
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での伝統的な作法(正しい箸の持ち方)の伝承 ・地産地消に対する認知 ・栄養成分表示を確認する機会 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食欠食の改善 ・栄養バランスに配慮した食生活の推進 ・食の安全性に対する判断・行動の推進



考えられる背景	考えられる食育推進への影響
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化に伴う独居世帯の増加 ・共働きや単身世帯の増加 ・生活環境や働き方の多様化 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にある外食や中食の利用 ・食の簡便化や経済的志向の高まり ・望ましい食生活への影響 (若い世代の野菜不足・高齢者のたんぱく質不足) ・孤食の増加に伴う食文化伝承の機会の減少 など

次期計画の 方向性

本市の基本理念である『食』から始まる豊かな暮らし、食育実践都市‘させぼ’の実現に向け「し・あ・わ・せ」をキーワードに4項目の重点課題を新たに設定



基本理念

『食』から始まる豊かな暮らし、食育実践都市‘させぼ’

- ▶ 共食などをとおして、食に関する理解や関心を高めることで、食育を推進する市民一人ひとりが、適切な食の選択による望ましい食生活を実践することにより、生涯にわたって心身ともに健やかに豊かな暮らしを送ることを目指します

基本方針

基本理念を実現するための7項目の基本方針

- 1 市民の心身の健康増進と豊かな人間形成
- 2 保護者、教育及び保育教育者などによる子どもの食育推進
- 3 食育推進運動の展開
- 4 食に関する感謝の念と理解
- 5 食育推進・体験活動の実践
- 6 伝統的な食文化、環境に配慮した農林漁業の活性化
- 7 食品の安全性の確保などに配慮した食育の推進



本計画の7項目の基本方針を実現するために、本市の食をめぐる現状を踏まえ「し・あ・わ・せ」をキーワードに、相互に関係する4項目の重点課題を設定し食育を推進します。

重点課題

し 市民一人ひとりが自然に健康になれる食環境整備

あ 食物や情報へのアクセス及びライフコース・アプローチによる食育の推進

わ 3つの「わ食(輪食・和食・環食)」による食育の推進

せ 生活習慣病などの予防につながる食文化の伝承



基本的施策

基本理念を実現するための7項目の継続した食育推進運動

- 1 ライフコース・アプローチを踏まえた食育の推進
- 2 家庭における食育の推進
- 3 教育及び保育機関などにおける食育の推進
- 4 地域における健康寿命の延伸を踏まえた食育の推進
- 5 生産者と消費者との交流・環境に配慮した食育の推進
- 6 食文化伝承のための食育の推進
- 7 食品の安全性を踏まえた食育の推進

計画の推進

- 1 計画の推進体制
 - 2 国・県・各種計画との連携
 - 3 事業の評価と進捗管理
- ▶ 佐世保市食育推進会議において、目標の達成状況及び施策の具体的な評価を行うため、進捗状況を把握しながら、施策について食育を総合的かつ計画的に推進します。

第4次佐世保市食育推進計画【令和4～8年度】							第5次佐世保市食育推進計画(案)【令和9～17年度】							
基本目標	推進項目	現状値 【令和2年度】	目標値 【令和8年度】	調査結果 【令和7年度】	目標評価 ※	今後の方向性	基本目標	推進項目	調査結果 【令和7年度】	目標値	食育ピクトグラム			
1	食育の認知度を向上させる	食育を意味も含めて知っている人の割合の増加	52.9%	80.0%	57.9%	○	継続	—	—	—	—			
2	朝食の欠食について	欠食する市民の割合	就学前	0.1%	0%	0.2%	△	継続	—	—	—	—		
			小学2年生	2.3%	0%	1.2%	○	継続						
			小学5年生	2.0%	0%	1.8%	○	継続						
			中学2年生	0.6%	0%	1.7%	△	継続						
			16～79歳	7.2%	5.0%	6.3%	○	継続						
3	栄養バランスに配慮した食生活を実践する市民を増やす	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合	16～79歳	44.9%	60.0%	52.6%	○	継続	—	—	—	—		
			若い世代 20～30代	32.3%	40.0%	42.8%	◎	目標達成のため終了						
4	生活習慣病の予防や改善のために、普段から食生活に気をつけ、実践する市民を増やす	生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩に気をつけた食生活を実践する市民の割合	栄養成分表示を確認する市民の割合	68.6%	75.0%	73.0%	○	継続	—	—	—	—	—	
			栄養成分表示を確認する市民の割合	32.5%	45.0%	51.6%	◎	目標達成のため終了						
5	噛ミン30の推進について(よくかんで味わって食べるなど食べ方に関する市民の割合の増加)	ゆっくりよくかんで食べる市民の割合	就学前	70.1%	80.0%	68.7%	△	継続	—	—	—	—	—	
			小学2年生	84.3%	90.0%	85.6%	○	継続						
			小学5年生	68.4%	80.0%	83.0%	◎	上方修正						
			中学2年生	65.0%	80.0%	72.9%	○	継続						
			16～79歳	67.1%	80.0%	74.7%	○	継続						
6	家族そろっての食事の機会を増やす	1週間のうち家族そろっての食事する日が3日以上ある市民の割合	78.6%	90.0%	80.3%	○	継続	—	—	—	—	—		
7	学校における食育の取り組みなどを増やす(充実させる)	学校給食に地場産物(佐世保産)を使用する割合(重量比)	食育の視点を踏まえた各教科などにおける授業実践(栄養教諭及び学校栄養職員の参画を含む)を行っている学校の割合	50.6%	55.0%	47.5%	△	下方修正	—	—	—	47.5%	51.0%	
			食育の視点を踏まえた各教科などにおける授業実践(栄養教諭及び学校栄養職員の参画を含む)を行っている学校の割合	100%	100%	100.0%	◎	継続						
8	食育の推進に関わるボランティアの数を増やす	食育に関わるボランティア団体などにおいて活動している人数	220人	264人	159人	△	変更	食育の推進に関わるイベントやボランティア活動に参加する市民を増やす	食育の推進に関わるイベントやボランティア活動に参加したことがある市民の割合の増加	12.8%	20.0%	—	—	
9	地産地消の推進について(地場産物を認知している市民を増やす)	佐世保市や長崎県産の農畜産物・水産物を認知している市民の割合	小学5年生	69.4%	76.0%	63.9%	△	継続	地産地消の推進について(地場産物を認知または選択している市民を増やす)	—	—	—	—	
			中学2年生	52.5%	57.0%	58.1%	◎	上方修正						
			16～79歳	75.7%	83.0%	83.7%	◎	変更						
10	食文化(伝統的な料理や作法などを継承し、伝えている市民を増やす)	正しい箸の持ち方ができる子どもの割合	小学2年生	68.4%	75.0%	81.4%	◎	目標達成のため終了	—	—	—	—	—	
			小学5年生	71.8%	80.0%	80.7%	◎							
			中学2年生	82.4%	90.0%	87.1%	○							
		郷土料理などに関心を持つ市民の割合	43.7%	50.0%	46.1%	○	変更	食文化を地域や次世代に伝えている市民の割合						
11	食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民を増やす	食品ロス削減のために何らかの行動をする市民の割合	87.0%	95.0%	90.0%	○	継続	—	—	—	—	—		
12	食品の安全性に関する基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民を増やす	食事前の正しい手洗いを実践する市民の割合	51.1%	70.0%	50.8%	△	変更	—	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民の割合	81.9%	90.0%	—	—	

【※目標評価】 ◎ 目標値を達成したもの:8項目 ○ 前回の調査結果より改善したが目標値を達成していないもの:13項目 △ 前回の調査結果より改善しなかったもの:7項目